地質系若者のための
キャリアビジョン誌

2020年

一般社団法人 日本地質学会 編集

地質系専門職はどんな職？
国内25社の特徴を紹介

http://www.geosociety.jp/

『地質系若者のためのキャリアビジョン誌』の刊行に寄せて

一般社団法人　日本地質学会　会長　磯﨑　行雄

多発する豪雨、地震や火山などによる自然災害から国土と国民を守り、世界的な課題である地球温暖化防止やエネルギー・資源確保を推進して持続可能な社会を形成するためには、地質学をはじめとする地球科学の専門知識が不可欠です。そして、その専門知識に工学や社会学的見地を加えた「地質コンサルタント」と呼ばれる専門技術者がこれらの課題を解決すべく日夜活躍しています。

現在大学で地質学を学ぶ学生は多いのですが、将来の職業観については情報が少ないため、「キャリアビジョン」を考えづらい環境にあるのではないでしょうか。

そのため、日本地質学会では地質学を専攻する学生と地質コンサルタント会社との橋渡しをすべく、25 社の協力を得て今回の冊子を企画・刊行しました。

学生にとっては将来の自分の活躍の場を知ることができ、会社にとっては専門教育を受けた人材を確保する PR の場となることを目指しています。そして、地質学の専門教育が今以上に発展し、実社会に貴重な人材を多く輩出できることを、日本地質学会は積極的に支援していく所存です。

掲載企業

1. 株式会社荒谷建設コンサルタント
2. 応用地質株式会社（＊）
3. 基礎地盤コンサルタンツ株式会社（＊）
4. 株式会社建設技術研究所（＊）
5. 株式会社興和
6. 興亜開発株式会社（＊）
7. 国土防災技術株式会社
8. サンコーコンサルタント株式会社（＊）
9. 四国建設コンサルタント株式会社
10. 株式会社地盤試験所
11. 石油資源開発株式会社（＊）
12. 太平洋セメント株式会社（＊）
13. 玉野総合コンサルタント株式会社
14. 株式会社地圏総合コンサルタント（＊）
15. 株式会社地研
16. 株式会社中央設計技術研究所
17. 株式会社ドーコン
18. 飛島建設株式会社
19. 株式会社ナイバ
20. 西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社
21. 日特建設株式会社
22. 日本物理探鑛株式会社
23. 北陽建設株式会社
24. 八千代エンジニヤリング株式会社
25. 株式会社四電技術コンサルタント

＊日本地質学会賛助会員

Be Araise!

～次世代に誇れる価値共創企業へ～

人間と自然を考える

株式会社 荒谷建設コンサルタント

〒730-0833 広島県広島市中区江波本町 4 番 22 号
TEL：082-292-5481（代） FAX：082-294-3575
http://www.aratani.co.jp/

Chapter 1 地質調査業の魅力

地質や地盤に関する踏査・調査・解析等の技術を以て、様々な社会インフラの課題を解決

建設コンサルタントにおける地質調査では，計画する社会インフラ（トンネルや橋など）を支える地盤の強さや，設計上問題となる地質的リスクを把握し，設計に反映させることが重要です。

地表踏査から問題を抽出し，物理探査でその位置を絞り込む。続くボーリング調査でピンポイントの地盤試料を採取し，地盤の健全性と対応策を解析していく。専門技術を駆使することで直接見ることができない地中の症状を診断し，計画に反映させる「地質調査業」の仕事はまさに地球の医者と言えます。

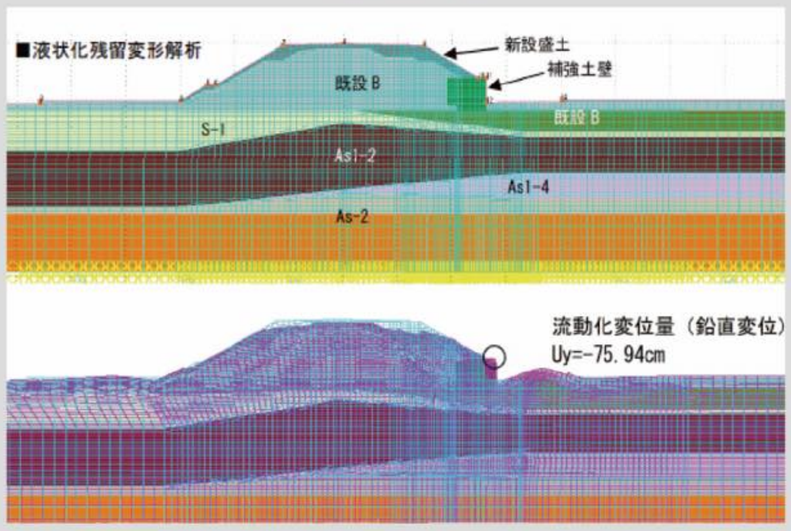
当社では以上のような地質調査をワンストップで行っており，強いやり甲斐を感じてもらえること間違いなしです！

アラタニで行っている業務の紹介

“ボーリング調査・サンプリング”

地盤に孔を開け，地下から採取された土・岩石の試料（コア）を観察します。調査位置や掘進深さの選定が，成果の品質を左右します。

“地盤解析”



複雑な地質構造の分布や、地すべりや軟弱地盤などの挙動を解析します。

“災害関連調査”

災害が発生した箇所の現地確認，および防災施設の点検や整備のための調査を行います。災害発生時には国や地方自治体と素早く連携し，災害状況の把握と，復旧方法の提案を行います。

Chapter 2 会社概要

創業	大正 5 年 1 月 5 日
設立	昭和 32 年 4 月 9 日
代表取締役社長	荒谷 悦嗣
資本金	91 百万円
売上高	5,960 百万円（令和 2 年 4 月期）
従業員数	386 名（令和 2 年 9 月時点）
登録	建設コンサルタント 地質調査業 測量業 補償コンサルタント 一級建築士事務所　ほか

Chapter 3 アラタニヒストリー（百年のあゆみ）

“生命の源である水を社会に供給する”
水道のない時代、熱い思いを胸に「荒谷ポンプ店」として創業した当社。後にポンプ設置で培ったボーリング技術をもとに地質調査業を手掛けるようになりました。

現在は「測量」、「土木設計」、「補償調査」、「環境調査」と事業領域を拡大し、総合建設コンサルタントとして社会資本整備に従事しています。

土木業界は技術革新や社会的課題を受け大きな転換期を迎えています。創業より培ってきた当社の強みを堅持しつつ、次の 100 年に向けてあるべき姿を思い描き、新たな価値を社員一丸となって創り出す
― そんな会社であり続けたいと考えています。

地球科学全般広い分野の専門家が活躍できる会社

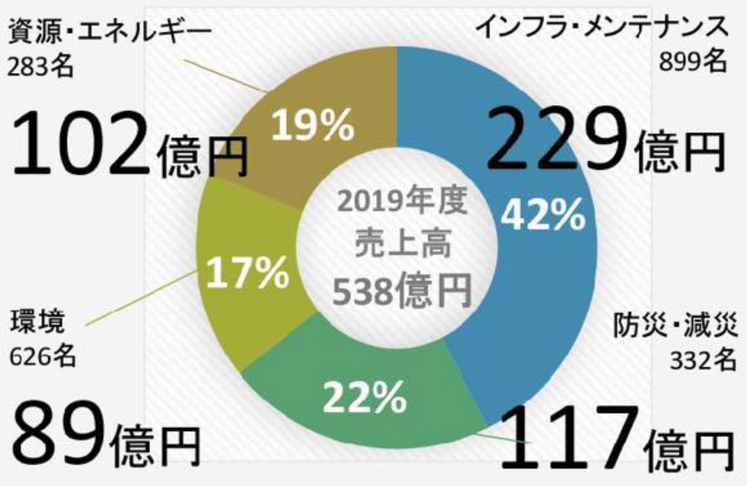
OYO 応用地質株式会社

日本初の民間地質調査会社。機器メーカー部門を持つ地質に関わる調査・コンサルタント。技術士応用理学地質部門145名。

応用地質会社概要(2019年12月末)

設　　立：1957年5月2日
社 員 数：1,126（グループ全体 2,235名）
　男性922名／女性204名　922　204
　技術794名／営業・事務332名　794　332
資 本 金：161億7,460万円
売 上 高：グループ全体 538億円
株式市場：東京証券取引所第一部

グループ売上高・人数構成



OYOグループ概要

4つの分野で社会課題を解決し、グループ事業を拡大します

持続可能な社会の構築 ••• 社会の課題
地球と人間社会の調和 ••• OYOグループの役割

応用地質の事業部
国内グループ企業
海外グループ企業

社会インフラ等の整備・維持管理を支援するためのソリューションサービス/システムの提供

メンテナンス事業部
社会インフラ事業部

東北ボーリング、KCS
宏栄コンサルタント
応用計測サービス　他

GSSI、 OYOPcific

社会の自然災害に対する強靭化を支援するソリューションサービス/システムの提供

流域・砂防事業部
地震防災事業部

応用地震計測
応用アール・エム・エス
OYOインターナショナル

Kinemetrics

環境保全（負荷軽減）を支援するソリューションサービス/システムの提供

地球環境事業部

エヌエス環境

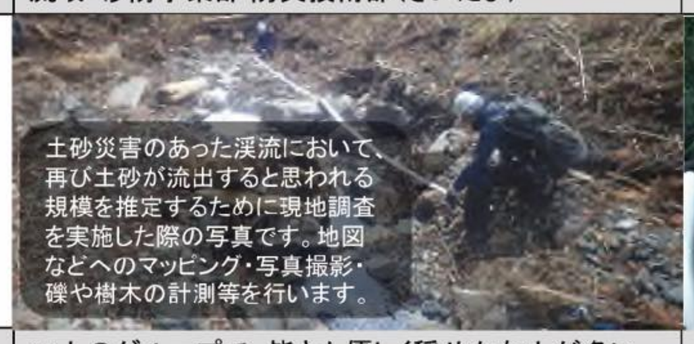
資源・エネルギーの開発・保全・有効活用を支援するソリューションサービス/システムの提供

エネルギー事業部

Geometrics
NCS-subsea
RG

情報システム事業部　計測システム事業部

地質系社員（2019年卒）が応用地質で１年間働いてみて感じたこと、あれこれ

大学での研究テーマは？	愛媛県伊予市双海町の三波川変成岩類中にみられる変斑れい岩体の岩石学的研究	オマーンオフィオライト南部岩体WadiTayin岩体マントルセクションの岩石学的研究	愛媛県八幡浜大島のｼｭｰﾄﾞﾀｷﾗｲﾄ生成断層とその周辺岩からみた間震期あるいは地震前後の変形作用
所属部署はどこですか？	流域・砂防事業部 防災技術部（さいたま）	エネルギー事業部 地質技術部（さいたま）	社会インフラ事業部 技術部（さいたま）
仕事の内容を教えてください。			
周りの同僚・先輩はどんな人ですか？	11人のグループで、皆さん優しく穏やかな人が多い。グループの垣根を越えて作業をすることもあります。年齢層は幅広いですが、30～40代が少ない。	専任指導員は男性で2016年入社、都市環境科学研究科地理環境科学域出身。部署は29名で、若手が多い職場。	専任指導員は女性で2017年入社、理学研究科地学出身。地質グループは9人で、そのうち同期は3人、女性は4人。
出張はどこにどのくらいの期間ありましたか？	滋賀・福井：計4か月程度、栃木：計1か月程度。そのほか短期間のもので愛媛・三重・長野・愛知など。	石川県、千葉県、青森県	大阪3週間、高知1週間、新潟4日間etc.
残業はありますか？	ほとんどなし。年度末に増える傾向。	月によります。	1週間で0～4時間。1日最大でも2時間程度。
土日は出勤しますか？その頻度は？	月曜朝から現場の場合、日曜日に前入りすることが多い。内業ではほとんどなし。ただし年度末は忙しくなるため出勤することもある。	現場では土曜出勤することあり。振休有り。	していません。
休暇はどのように過ごしていますか？	暖かい時期には趣味のキャンプでのんびりします。家で料理を作ったりもしています。	出張先では観光したりご飯を食べに行きます。	出張先での休暇は観光することが多いです。
働いてみてよかったこと、楽しかったことはありますか？	日本各地の現場で、身に着けた調査技能や知識を生かせること。	学生時代に学んだことを生かせること。新しいことだらけで楽しいです。	日頃当たり前に使っている構造物（道路やトンネルなど）の安全に関わる仕事が多いので、人の役に立っている実感があること。
逆に辛かったことはありますか？	年末の寒い時期に川で現地調査をすることがあり、不意に長靴に穴が開いて、この上なく寒いかった。	自宅から1時間半の出張先に通ったとき。	トンネル点検の夜勤が続き、昼夜逆転した。
入社前と入社後でギャップはありましたか？	有給は取れるかどうかはもとより、取らなければならない。	出張が思ったよりも多かったこと。	出張が多いので自宅で寝ることが少ない。
OYOに決めた理由は何ですか？	地質をはじめとした持ちうる知識を生かして、近年増えつつある災害に立ち向かい社会に貢献しようと思ったから。	面接を受けて最も働きやすそうだと感じたから。完全週休2日制だったから。	育休産休取得率が高いことと、地質系の会社の中ではワークライフバランスに積極的。
仕事のモチベーションは何ですか？	災害に関わる仕事が多いため、調査などの自分の一挙一動が来年の災害を食い止めているかもしれない、という思いで業務に取り組んでいます。	休日の予定。	全国の美味しいものを食べること！

採用担当がよく聞かれること、あれこれ

詳細は採用ホームページで　jinji@oyonet.oyo.co.jp　03-5577-6722(直通)

Q1.転勤はありますか？
A1.本人が希望しない転勤は原則ありません。ただし、部署の異動はあります。事情があって特定の地域に勤務したい場合は1年に1回ある上司との面談で相談してください。日頃のコミュニケーションも大切に！

Q2.有給休暇取得率は？
A2.2019年度の有給休暇平均取得率は59%でした。2020年は全社員が60%以上取得（1年目10日付与の場合は6日以上、最大20日付与の場合は12日以上）を目指します。

Q3.一日職場体験は？
A3. 2020年12月～2021年2月実施予定。まずは登録を！
マイナビ2022

Q4.求める人材？
A4.経営理念に共感ができ、人とコミュニケーションをとることが苦手ではない人。現場好き。

落石調査
（熊本地震）

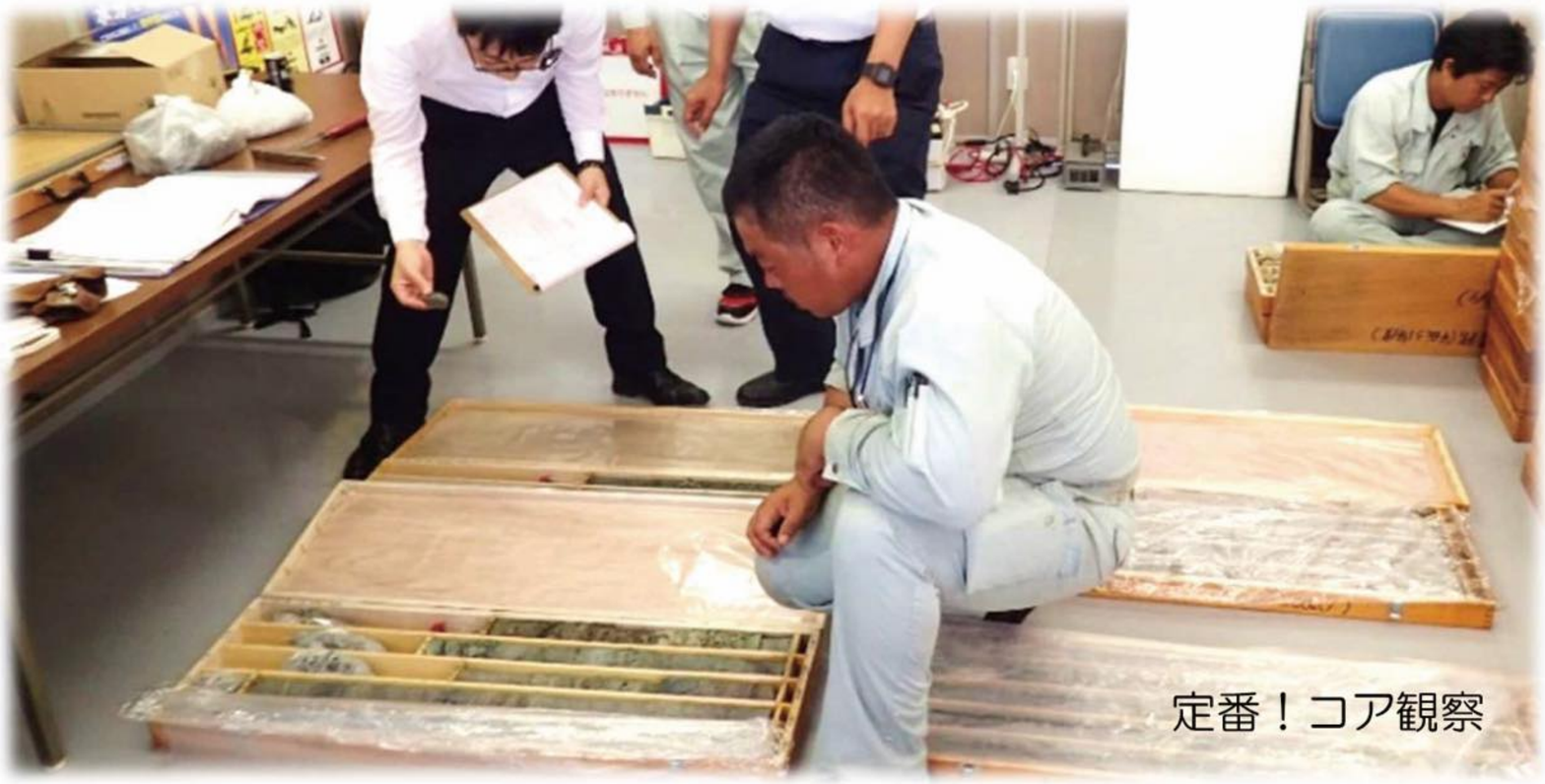
道路被害調査
（熊本地震）

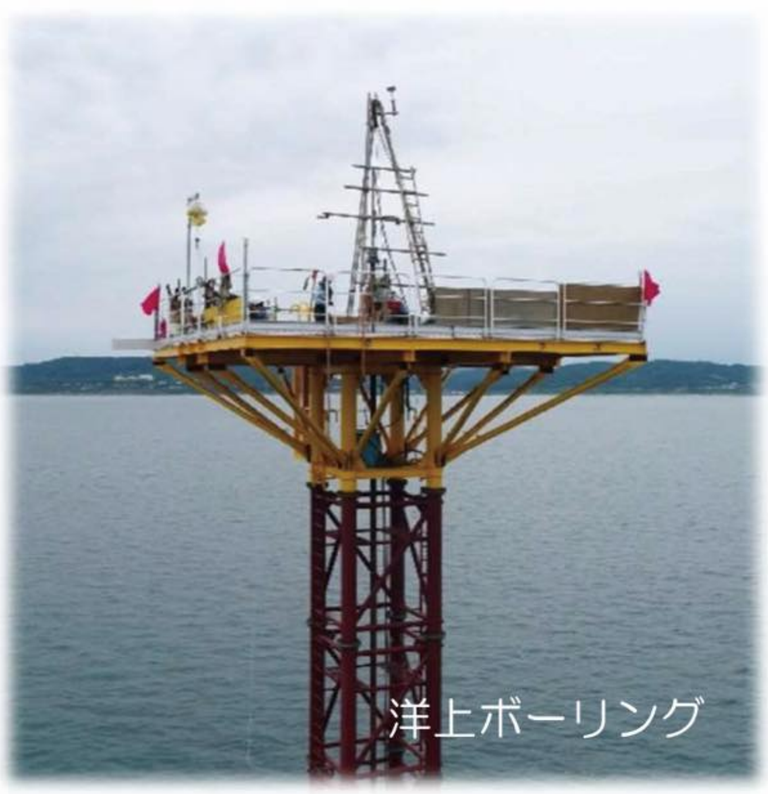
ドローン操縦訓練

好きなことやろうよ！
地質のしごと

ヘリから崩壊地を観察
（北海道胆振東部地震）

火山灰層序を観察
（北海道胆振東部地震）


定番！コア観察


洋上ボーリング

Kisojiban

基礎地盤コンサルタンツ（株）

ホームページ：https://www.kiso.co.jp 見てね！

株式会社 建設技術研究所
CTI Engineering Co., Ltd.

インフラ整備

『建設技術研究所』という商号が示すように、我々は創業以来70年もの間インフラ整備に貢献してきた建設コンサルタント。とはいえ、ダムを作るにも地質状況が分からないことには･･･と、1972年CTIに初めて地質技術者が採用されました。
社内の設計技術者と協働しながら、日々地質と向き合う姿は、今も昔も変わることはありません。

ダム基礎岩盤を、人の目で観察。

維持管理

船からの観察に加え、構造物の変状にも着目。

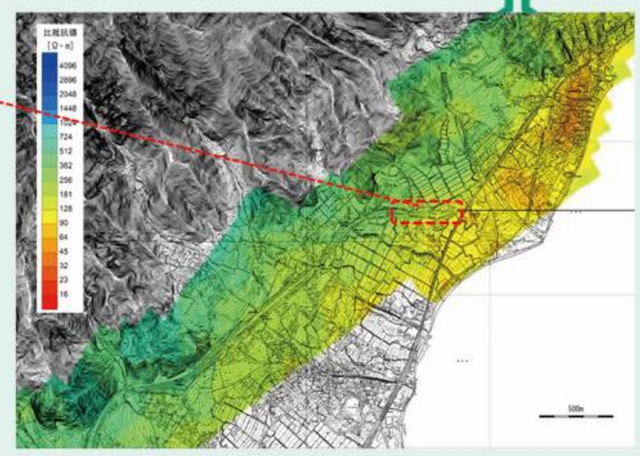
『いやぁ～今年も暑いなぁ』。夏になると必ず話題になる、ダムの貯水池。ダムの水位が毎年上下を繰り返すなかで、おのずと貯水池周りの斜面が崩れ気味に･･･。
そこにCTIの目がキラーン！点検を実施、今後の接し方を提案します。
CTIでは建設だけでなく、メンテナンスにも深い愛を持って取り組みます。建設時に携わった土木構造物も多く、思い入れが強いんです。

砂防堰堤本体の強度を、超音波の目で調べました。

水源開発

あまりなじみがないかもしれませんが、実は、地下水はご家庭や商業用途で多く使われています。しかし、地下構造物で井戸が枯れたり、汲み上げすぎて地盤沈下を引き起こした過去も。
そこでCTIでは、水が多く汲めて、しかも周囲にお住まいの方々の井戸への影響が少ない、そんなWin-Winな水源の開発を行っています。

「空中電磁探査」の目で、帯水層を探しました。



ダイバーシティ推進

自分たちの働き方を、見つめなおしています。

CTIにはダイバーシティ推進室があり、多様な人材を積極的に活用しようと、鋭意活動を進めています。って、その活動が面白いことになっていて、70人を超える女性社員が大挙して工事現場を訪問しました。そういえば、CTIは先日「イクボス企業同盟」に加盟したんです。ビバ、イクボス！！

防災

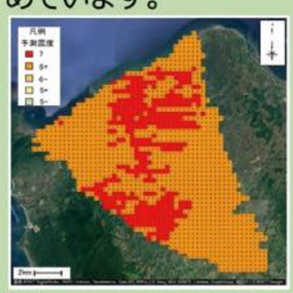
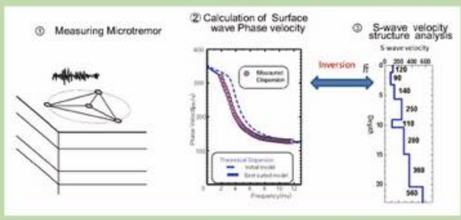
昨日は凄い雨だったぁ。ふとテレビに目をやると、映るのは無残にも崩れた崖。そこにあったはずの土砂は川に流れ込み、土石流となって我々を襲うこともしばしば。
崩れた崖をどう復旧するのかはもちろん、川に残る土砂の状況を調べ、土石流発生を食い止めるべく、CTIは対策の術を提案します。

崩壊の恐れのある斜面を、『空から目線』で探すことも。

研究開発

日々のコンサルタント業務の傍ら、新技術の開発にも取り組んでいます。たとえば、CTIグループである株式会社地圏総合コンサルタントとともに、微動アレーを用いた研究開発を進めています。

人の目だけでなく、新しい技術の目も養います。

CTIにようこそ！

環境修復

自分の隣にゴミ箱がないと不安。なのに、家の隣にゴミ置き場ができると不安になる私。だから、自分が暮らす町で不法投棄が行われたら、心穏やかには過ごせないでしょう。
CTIは、不法投棄の状況をただ調べるだけでなく、そこに暮らす方々と向き合い解決策を探ります。つい感情的になる気持ちを前向きに切替え、戦いをつづけているのです。

不法投棄された廃棄物を見分け、撤去しています。

社会貢献

建設コンサルタントとして、社会基盤の構築に貢献するのは当然の責務。でも、日々の仕事で得た知識を披露しないのはもったいない！
そこで子どもたちへの理科教育活動に参画しています。

技術者の地質をみる目を、養っているところです。

巡検・探検

学校でも学会でもお約束の行事、巡検。会社勤めを始めても、止められない（笑）。
巡検は毎回社員の手でがっつり計画が練られ、先生をお招きしてのレクチャー→露頭巡り→懇親会（重要）という伝統を頑なに守って実施しています。ほかにも社員のお子さんを対象にした職場探検や部内旅行などの企画も多くあります！

大地と水と雪に取り組む建設コンサルタント

KOWA 株式会社 興和

株式会社　興和（こうわ）とは

新潟県を中心に**東北・北陸**で
地域の**防災・減災・インフラ整備・**
再生可能エネルギー利用に
取り組む会社です。

＼自然がすき！／

当社の特徴

- 調査系の**コンサル部門**と**施工部門**の
  両方がある珍しい会社です
- **土質試験センター**を**自社保有！**
- 学会発表など**研究にも力を入れています**
- 再生可能エネルギー（**地中熱・下水熱**）
  利用分野で業界をリード

活躍できるフィールド

＊土質調査
- 構造物（盛土、橋梁）調査
- 軟弱地盤調査、解析
- 河川堤防浸透調査、解析
- 耐震調査、解析

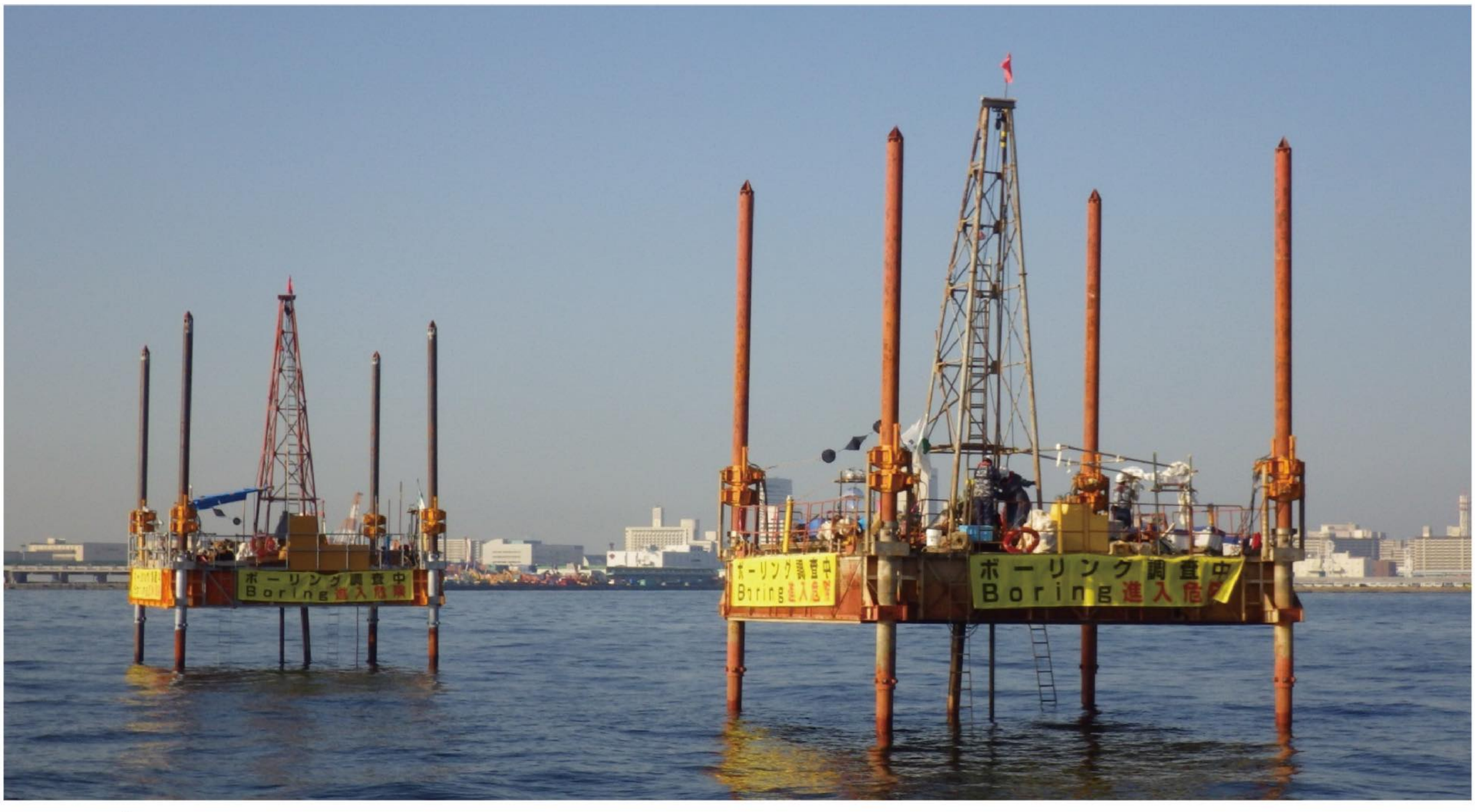
＊斜面防災調査
- 地すべり調査
- 急傾斜地崩壊、落石調査
- 砂防調査、計画　　etc.

／研究がすき！＼

会社ホームページも
ご覧ください。→

地質調査・地盤調査・土壌汚染調査を続け、60 余年。

平野部・山地部の地盤・地質調査、海上の地盤調査、土壌汚染調査等に特徴のある会社です。
四角い漢字ばかりの硬い印象の会社ですが、仕事も堅い会社です。
一緒に仕事のできる地質屋を求めています。



興亜開発株式会社

〒135-0007　東京都江東区新大橋一丁目８番２号　　TEL：03-3633-7351　FAX：03-3633-7356

e-mail：webmaster@koa-kaihatsu.co.jp　　URL：https://www.koa-kaihatsu.co.jp/

「勉強してきたことを仕事にしたい」なら

建設コンサルタント

という選択肢もあります

私たちは、斜面防災を中心とした建設コンサルタント会社です。
大雨や台風によって崩れた山地・斜面をどのように治すのか、
崩れないためにどのような対策工事をするべきかを調査・計画・設計します。

仕事のフィールドは海岸から山地まで幅広く、
さらには緑化・土壌汚染・放射性物質調査・土質試験など
多様な分野の技術者が活躍しています。

地学・地球環境科学を学ばれたみなさん、
学んだことを仕事にいかしたいと思うならぜひ当社を考えてみてください。

2019年の新入社員と2年次社員
入社してすぐに技術者の基礎となる研修を行います。

先輩の働く様子はこちら！

国土防災技術株式会社

会社説明会やインターンについてはマイナビをご確認ください。
採用担当部署：管理本部　総務部
TEL：03-3436-3673　FAX：03-3432-3787　MAIL：soumu@jce.co.jp

国土防災技術 HP
採用情報

サンコーコンサルタント株式会社

（東京都江東区）

サンコーコンサルタント株式会社は、1961年の創業以来「ひとのくらしを守り、支え、創る」という考えのもと、地盤調査や地盤防災、水文調査、構造物設計・維持管理、河川・上下水道などの様々な分野においてサービスを提供する総合建設コンサルタントです。

１．確かな技術力とチャレンジ精神

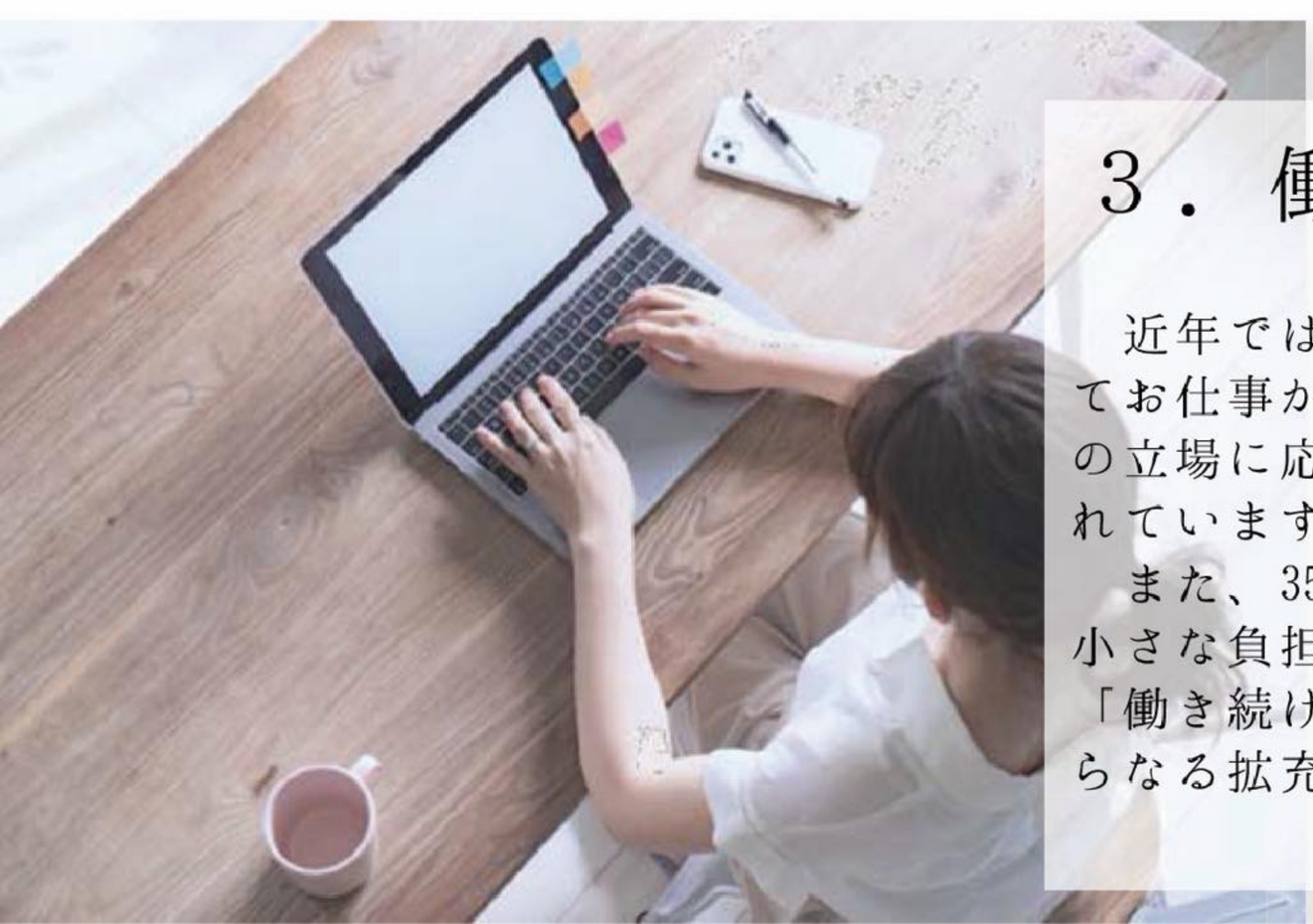
鉱山会社を源流にもつサンコーコンサルタントは、地質系のプロフェッショナルは勿論のこと、道路や橋梁、河川や砂防、都市計画から環境調査に至るまで、様々な専門家の技術力によって支えられています。多様な技術者が協力して業務に取り組む環境で、刺激を受けながら実力を身につけることができます。

積み重ねられてきたノウハウだけで満足せず、最近はＶＲ・ＡＲやＡＩ、ＣＩＭ等の技術の導入にも積極的に取り組んでいます。年齢や立場を超えて意見を出し合う場が定期的に設けられており、若手ベテラン関係なく、活躍できるチャンスがあります。

２．教育・研修制度

サンコーコンサルタントには技術士資格取得支援制度があり、先輩技術士が試験合格までマンツーマンでサポートします。2019年度には5名の合格者を輩出しました。

各種研修もキャリアの段階に応じて実施しています。新入社員研修では、東京本社におよそ14日間にわたって会社や各事業分野の役割やビジネスマナーについて学ぶほか、サンコーコンサルタントが携わった現場の見学ツアーなどを行っています。



３．働き方と福利厚生

近年では、在宅勤務制度や時差出勤制度、勤務地を限定してお仕事ができる地域限定正社員制度など、社員がそれぞれの立場に応じて柔軟に働くことができる環境の整備に力を入れています。

また、35歳までの独身者が利用できる社員寮制度があり、小さな負担で1Ｋマンションに住むことができます。社員が「働き続けたい」と思える会社にするために、福利厚生のさらなる拡充を検討中です。

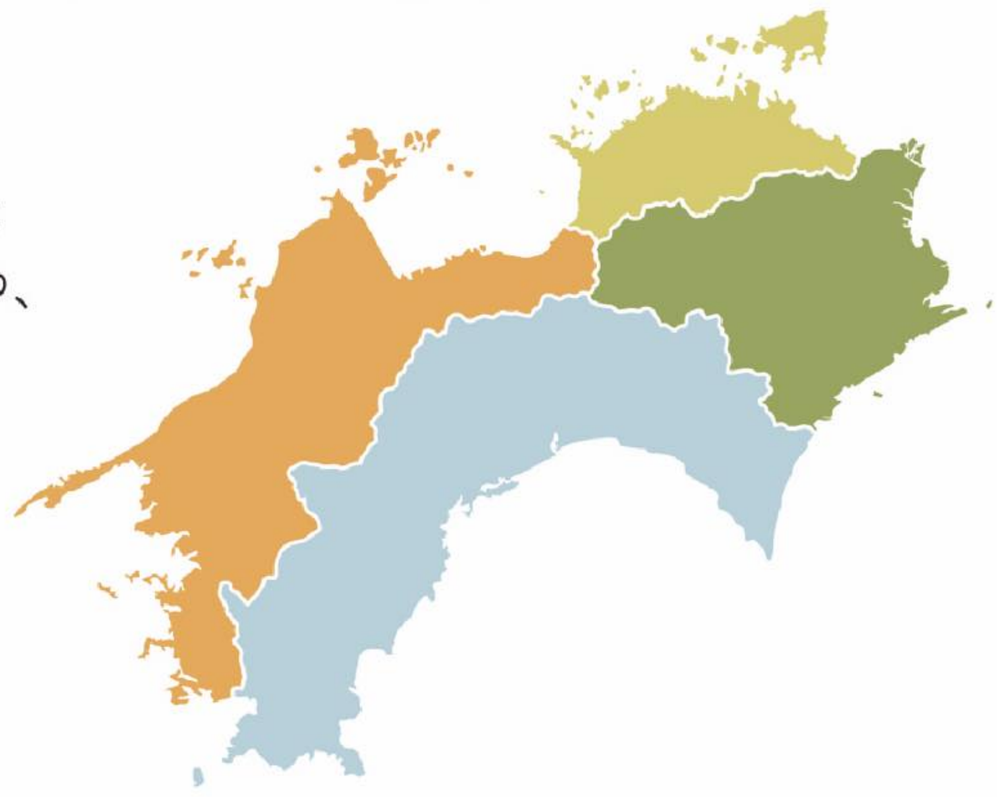
四国建設コンサルタント株式会社

Shikoku Construction Consultants Co.,Ltd. SINCE1962

弊社の地質調査部門は技術士（応用理学部門 地質 ２名）を擁して、四国四県で多くの実績を残しています。

建設コンサルタントで あなたの能力を発揮しませんか？

YONCON（ヨンコン）の愛称で呼ばれる当社は、1962年の創業から半世紀以上、常に自然・社会環境に配慮しつつ、道路や橋梁、トンネル、河川・砂防、港湾、公園、下水、建築、環境などの社会資本を整備・維持するための調査、設計、計画、分析、解析などを手掛けています。



徳島本社 〒771-1156
TEL 088-683-3322 徳島県徳島市応神町応神産業団地3番地1

愛媛支店 〒791-1112
TEL 089-975-7731 愛媛県松山市南高井町593番

高知支店 〒781-8132
TEL 088-845-3322 高知県高知市一宮東町五丁目6番7号

香川支店 〒760-0077
TEL 087-811-9990 香川県高松市上福岡町942-10

鳴門出張所 〒772-0003
TEL 088-676-3390 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜183番地8

https://www.yoncon.co.jp/

ISO 14001 9001

子育てサポートしています 2013年認定事業主

森は、CO2の貯金箱 CO2 CARBON OFFSET Tokushima

世界中で
建設工事が
ある限り、
私たちの技術は
永久不滅

会社説明会
インターンシップ
随時受付中

お問合せ
総務部　担当：田村　英明
TEL：03-5600-2911　FAX:03-5600-2952
Mail:h_tamura@mail.jibanshikenjo.co.jp

事業内容
杭の支持力試験
地盤調査ＣＰＴ（三成分ｺｰﾝ貫入験）

国内屈指の技術力を誇る、
地盤支持力調査リーディングカンパニー

地盤試験所のやりがいは？？

「自由と裁量の広さ」ですかね！
（ん？超ゆるいだけかも＾＾）

株式会社 地盤試験所

石 油 資 源 開 発 株 式 会 社
JAPAN PETROLEUM EXPLORATION CO., LTD.【JAPEX】

みなさま、こんにちは。石油資源開発株式会社です。

1. 会社紹介

弊社は、石油・天然ガスの探鉱・開発・生産（E&P：Exploration & Production）に半世紀以上にわたって取り組む、日本における E&P のパイオニア企業です。石油・天然ガスの E&P 事業では、現在は国内 10 ヶ所の油ガス田で石油・天然ガスを生産し、貴重な国産エネルギー資源として供給・販売しています。また、国内で培った技術力を武器に、海外の油ガス開発・生産プロジェクトへも参画しています。

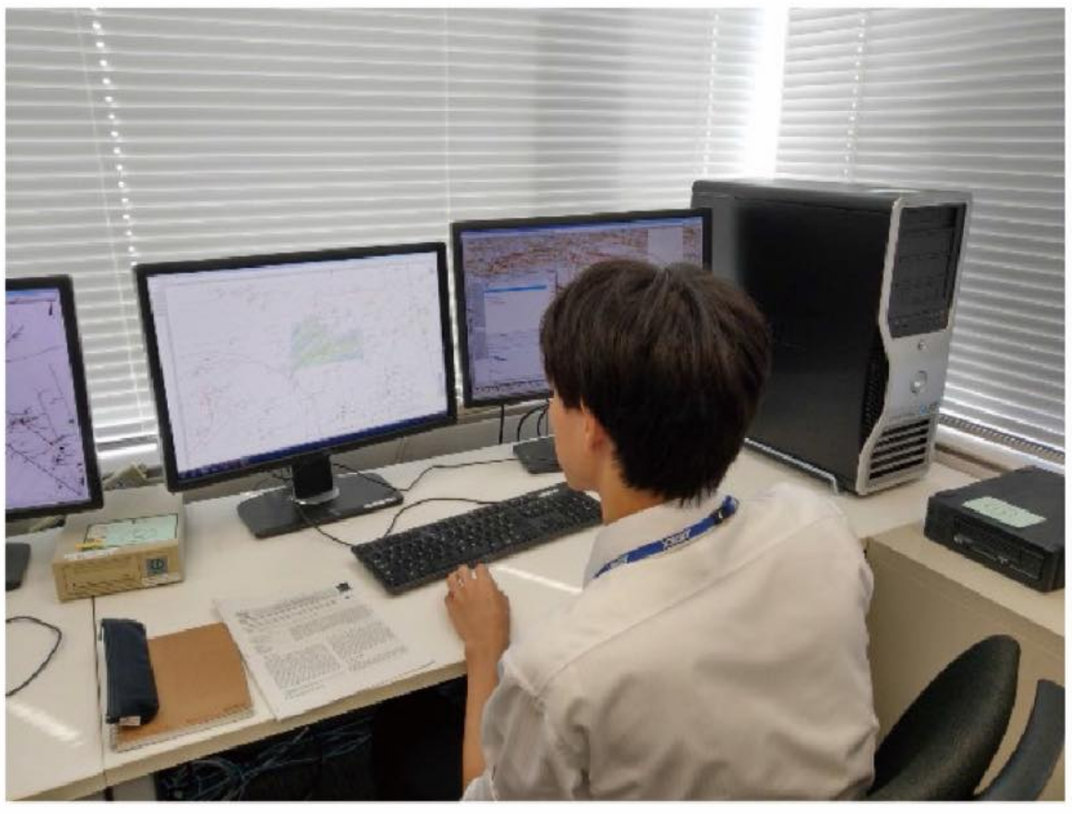
また E&P 事業で培った技術や知見を活かして、インフラ・ユーティリティ事業（国産天然ガスや LNG（液化天然ガス）の供給・天然ガス火力発電事業への参画)、新規事業（関連会社を通じての二酸化炭素の回収／貯留（CCS)）や、未来のエネルギーとして期待されるメタンハイドレートの開発技術など）に取り組み、低炭素化社会に対する地球規模の課題解決にも積極的に取り組んでいます。

2. 仕事紹介

探鉱部門の地質系社員は、主に国内外の油ガス田について、地質巡検／調査や物理探査・坑井作業等で得られた各種データを用いて、地質評価や資源量評価を行っています。また、これまでの評価作業で蓄積された地質の知識を用いて、CCS 等の新規事業にも関わっています。

3. キャリア紹介

１年目は主に研修です。講義や野外での地質巡検／調査、坑井現場での研修、業務等を通して、石油地質に関する基礎的な知識を勉強していきます。大学で石油に関する地質を学んでいないからと、不安に感じる必要はありません。２年目以降は主に技術系の部署に所属し、様々な地質評価業務の経験を積んでいきます。海外経験については、若手でも業務やセミナー参加での出張機会があり、業務のタイミングによっては海外駐在の可能性もあります。



弊社に興味をもっていただければ幸いです。

質問がありましたら、お気軽に下記までお問い合わせください。

石油資源開発（株）　技術本部 技術企画部　　中西 弘和　hirokazu.nakanishi@japex.co.jp

地球のための仕事をしよう。

「環太平洋におけるリーディングカンパニー」を目指す

太平洋セメントは、1998年に業界の両雄、秩父小野田と日本セメントが合併して設立された国内販売シェア約35％を誇る業界のリーディングカンパニーです。セメント・資源・環境などの事業を中核に、国内のみならず、米国、中国、ベトナム、フィリピンなど環太平洋地域を中心に事業範囲を拡大させています。セメントの安定供給による都市生活のインフラを支える基幹産業としての責任を果たすだけでなく、大量の廃棄物処理・再資源化が可能なセメント工場の特性と、長年培ってきたリサイクル技術を生かし、地球環境保全と循環型社会の実現にも貢献しています。

大自然を相手に社会の基盤をつくる仕事

当社には「地質・岩鉱系」が活躍できるフィールドがあります。鉱山・資源部門では、セメント原料となる石灰石や珪石をはじめ、産業界に供給するための鉱産品を確保することが重要な業務となります。具体的には、“地質技術者”として、採掘中の鉱山での地質調査（岩石の品質や鉱量確認、採掘を進める上で、亀裂有無などの安全性確認）や新しい鉱床を探る地質調査、“鉱山技術者”として鉱山開発・採掘・選鉱の管理を行うことが挙げられます。
鉱山・資源部門では全国の大学から、地質・岩鉱系の講座を卒業したOB・OGが活躍しています。もっと知りたい方は当社HPをご覧頂くだけでなく、下記問合せ先にお気軽にお問い合わせください。

地球のための仕事をしよう

当社では「地球のための仕事をしよう。」のスローガンのもと、日本だけでなく、世界中の社会基盤を支えるというスケールの大きさ、そして社会貢献度の高い仕事に携われることが最大の魅力です。“若手にやらせてみよう”という社風があり、早くから責任のある仕事を任される傾向が強く、研修・教育制度も充実しています。

本　　社　〒112-8503　東京都文京区小石川1-1-1　文京ガーデンゲートタワー
ＴＥＬ　03-5801-0333（代表）
会社ＨＰ　https://www.taiheiyo-cement.co.jp
問合せ先　採用アドレス：saiyou@taiheiyo-cement.co.jp
（人事部）　TEL：03-5801-0225　FAX：03-5801-0235

設　　立　1881年5月
資 本 金　862億円
事業内容　セメント事業、資源事業、環境事業、海外事業、建材・建築土木事業など
従業員数　1,798名（2020年3月31日現在　出向従業員および休職者等含まず）
売 上 高　8,843億円（2020年3月期 連結）
生産拠点　国内9、米国3、中国3、ベトナム1、フィリピン1（グループ含む）

TAIHEIYO CEMENT

都市と自然と調和する接点へ。

TAMANO

総合建設コンサルタントとして、
都市と自然が調和する接点となり公共事業を円滑に進めるために基本構想から完了に至るまでのあらゆるニーズに応えられる技術を備え、社会に貢献している企業です！

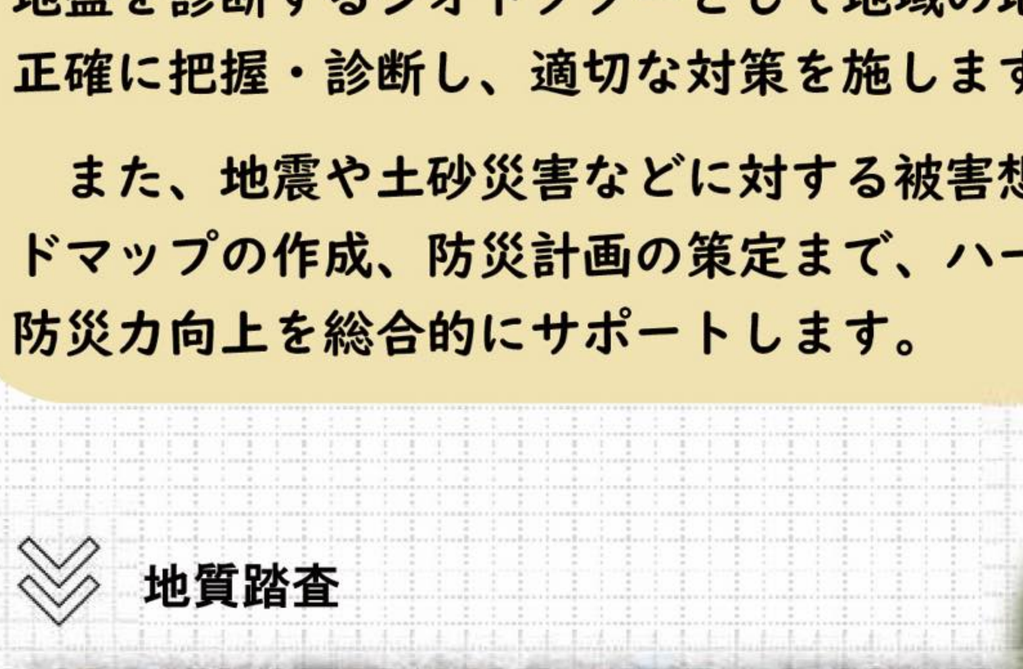
玉野総合コンサルタント株式会社

地盤・地質を相手にする部署では、みなさまの生活と産業基盤を支える災害に強いまちづくりと社会資本の整備を目指して、地盤を診断するジオドクターとして地域の地形・地質・地盤情報を正確に把握・診断し、適切な対策を施します。

また、地震や土砂災害などに対する被害想定やその対策、ハザードマップの作成、防災計画の策定まで、ハード・ソフトの両面から防災力向上を総合的にサポートします。

ボーリングコア

地質踏査



ボーリング調査

安心・安全な社会基盤の整備と豊かな生活空間づくりのために地質系の業務だけでなく、維持管理・防災・砂防関係（各種点検業務、耐震改修、大規模盛土等含む）等の地盤に関するトータルマネジメント領域の業務にも携わっています。

様々な部署と連携し、多様な視点から業務に関する問題をマネジメントしていきます。
コミュニケーションが取りやすく、風通しの良い会社です！
女性技術者も働きやすい環境です ☺　地質の知識を活かして当社で働いてみませんか？

当社の詳細はこちら！

CTIグループ

株式会社　地圏総合コンサルタント

Chi-ken Sogo Consultants Co., Ltd.

前　進
品質・サービスの向上
顧客満足・信頼向上
技術力向上・自己研鑽
チャレンジしつづける

使命の達成

責　任
社会的責任
環境への配慮
倫理・法令遵守

社会に貢献する企業

やりがい
ゆとりと豊かさのある職場
社員満足度向上

共　有
価値観の共有
信頼あるチームワーク
コミュニケーション

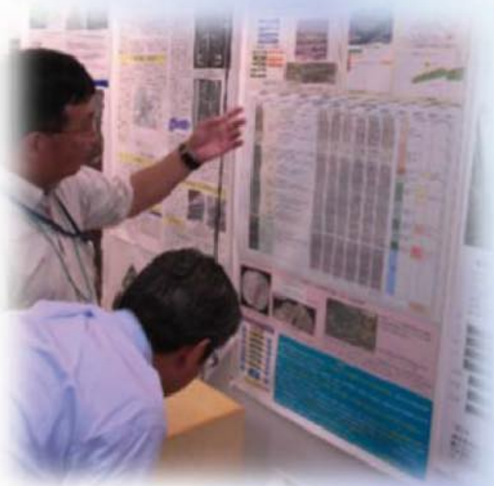
What is worth doing at all worth doing well

やる価値が少しでもある事はやりとげる価値がある

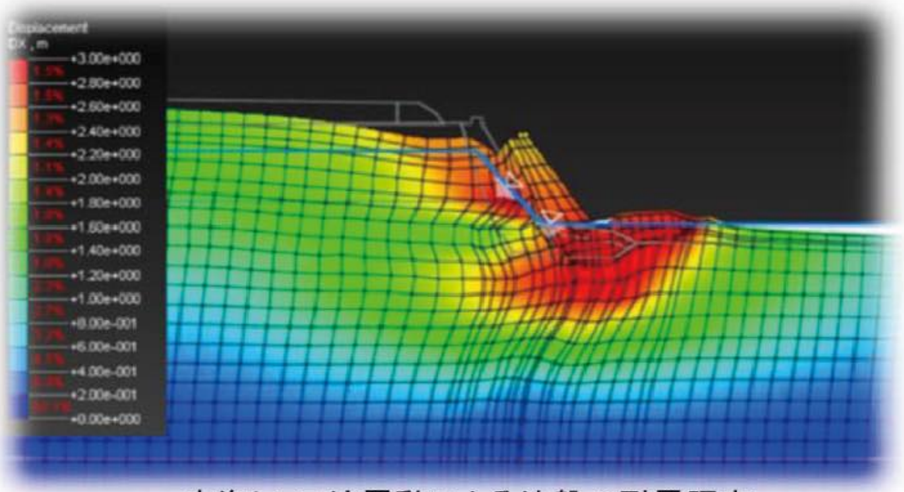
活断層トレンチ

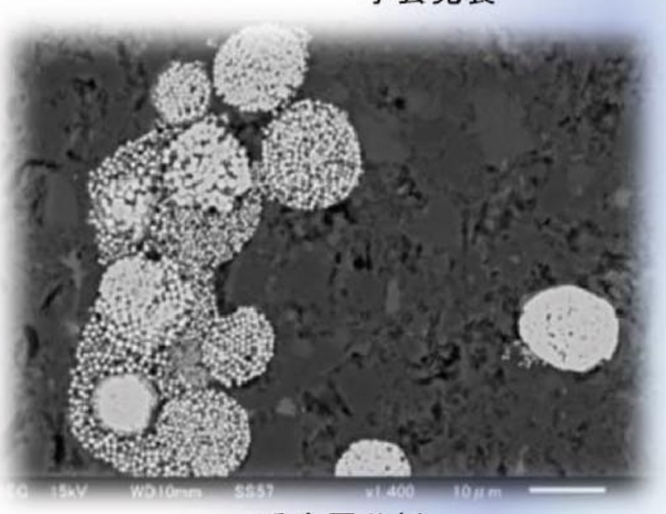
坑内調査

災害対応


学会発表

地表地質調査


南海トラフ地震動による地盤の耐震照査


重金属分析

地球科学を切り口に防災・環境・インフラ整備に取り組むコンサルタント会社です

インフラ整備、鉱山・地下空間、地層処分、水資源、環境分野の地質調査・解析、河川分野での堤防の質的整備、護岸等設計などで多くの実績と信頼を有しています

50th
次の50年へ
ありがとう50周年

地質を知る それは地域の 暮らしを守ること

私たちと 高知で一緒に 働きませんか？

私たち株式会社　地研は様々な活動を通して常に新しい情報や技術の習得に努め、地域の皆様に信頼される技術力を維持し、より安全で快適な社会基盤整備に貢献できる企業となれるよう努力しております。
主に、社会インフラ整備に関わる地盤・地質・地下水の調査を実施し、設計・施工・維持管理に必要となる情報の収集や提供、解析を行っています。
また、住宅の地盤に関しても、今まで培った豊富なデータと経験を生かし、調査・解析から保証、改良工事までを一括して行う住宅事業を展開しております。

高知県／室戸ユネスコ世界ジオパーク　ターピダイト

地質リスクや自然災害から人々の安全な暮らしを守り自然との共存を目指します。

地質のメッカ！日本地質学の発祥の地「高知県」

自然や四季の移り変わりを肌で感じることができる高知県。各地に素晴らしい自然が残っており、休日にはアウトドア、釣り、山登りなど自然に親しみながら過ごせます。地質は、南から順に東西に主に堆積岩からなる四万十帯、秩父帯と変成岩からなる三波川帯から構成されており、地質学を志す人が一度は足を運ぶと言われる「ナウマンカルスト」や国の天然記念物に指定されている「室戸ユネスコ世界ジオパーク」などがあり、地質学的魅力がいっぱいです。

ナウマンカルスト

室戸ユネスコ世界ジオパーク

CHIKEN

※2005年2月に住宅事業部は「ジャパンホームシールド（株）」とFC契約し、営業を開始。

志を持った社員を育てるために人材への投資は惜しまない。

従業員自らが企画する研修旅行やスポーツイベントを通じて、社員同士の交流はもとより、仕事から少し離れた体験や新しい経験を大切にしております。また、各学会や協会が主催する講習会への参加や技術発表、資格取得の支援、外部講師を招いた社内研修会の開催など、社員のバランスの取れた知識と技術力の向上を全面的にバックアップしております。

社員研修旅行

スポーツイベント

講演会や
現地見学会への参加

研究発表会

高知市男女共同参画
推進企業表彰

国土交通行政関係
功労者表彰

高知県ワークライフ
バランス推進企業認証

CHIKEN

調査から施工まで、幅広い視野を持って地盤環境に取組む技術のプロ集団

株式会社 地研

建設コンサルタント・地質調査・地すべり対策工事・住宅関連事業

本社／〒780-0974 高知市円行寺25番地
Tel.088-822-1535 Fax.088-822-1548
E-mail : chiken@kcb-net.ne.jp

https://k-chiken.com/

人にも自然にも優しい

株式会社中央設計技術研究所

1947年「高柳水道調査設計事務所」創立
水道事業から開始

1969年「株式会社中央設計技術研究所」に改称

資本金	3,000万円
売上高	30.2億円
社員数	205名 （男123名・女性82名）
本社所在地	石川県金沢市
基幹事務所	福井、富山、岐阜、東京
他事務所	大阪、名古屋、福岡、長野　等　全45拠点
技術士	５５名（取得人数）

会社のことイロイロ

うちの会社自慢

女性社員比率が、国内建設コンサルタントでNo.1となった実績もあり、女性技術者も多数活躍しています。(2015年日経コンストラクション アンケートより)

先輩インタビュー

主に下水道管路の新設設計や老朽化に対する再構築設計を担当しています。仕事を通じて様々な事が学べるので、自らの成長を感じることも多く、これからも新たな仕事に果敢に取り組んでいきたいと思っています。

下水道部 大西さん

当社は、安全でおいしい水を安定して供給し、下水道やごみ・廃棄物などの処理機能を通じて循環型社会を形成する、水と環境コンサルタントのパイオニアです。ＩＴ技術や先進技術を駆使し、計画から調査・設計・施工監理まで、およそ「水と環境」の事業全般に関わって人々の暮らしに貢献しています。経営状況は、ここ数十年間無借金黒字経営を維持し、常に時代に即した商品開発を行うことで、受注残高は常時約１年分を確保するという安定的経営を継続しています。また、社員に対する処遇も大手企業に並ぶ水準を保っています。売上高・社員数ともに「水と環境」の分野では、日本海側でも有数のコンサルタント企業です。

CORPORATE PROFILE

株式会社 中央設計技術研究所

石川県金沢市広岡3丁目3番77号 JR金沢駅西第一NKビル7F
TEL：076-263-6464
HP：https://www.cser.co.jp/
✉：cs_webmaster@cser.co.jp

- ●代表者／笠松 英昭　●設立／1962年7月
- ●事業内容／上下水道・環境事業における企画・調査・計画・設計
- ●資本金／3,000万円　●売上高／30億2,667万円
- ●従業員数／205名
- ●事業所／石川、富山、福井、岐阜、東京、大阪を始め、全国に拠点あり
- ●関連会社／株式会社オリエンタルコンサルタンツほか

総合建設コンサルタント
株式会社ドーコン

◆会社の特色◆
　建設コンサルタントはよく「裏方」と表現されます。なぜなら実際に道路や建物を造るのはゼネコンで、その指示・決定や工程を管理するのは行政、建設コンサルタントは両者をつなぎ技術的な支援を行っているからです。当社は道路、橋梁、河川、防災、農業、環境、地質、都市・地域開発、建築など多岐に渡る分野の技術者が集まる「総合建設コンサルタント」です。道路をひとつ造るにしても、地質調査から環境影響評価、設計、工事計画の立案や用地、補償の検討など、自社の技術者が全面的に担当できるのは当社の強みです。

◆地質系技術者の活躍◆
　当社では、下記の通り、地質分野と防災保全分野で地質系技術者が活躍しています！

地質部

　各種土木構造物や建築物の計画・設計・施工・維持管理の各段階で地質調査等を行い、地盤や地下の情報を明らかにするとともに対策の提案を行っています。

（西塚 大　環境事業本部 地質部2010年入社/
理工学研究科地球科学専攻）

【岩盤を対象にした地質調査】
　構造物建設や斜面安定の対策実施にあたって、安全・安心やコスト縮減の実現を目指し、決して均質ではない岩盤の特性を把握するために必要な地質調査を計画立案し、設計・施工・維持管理に最適な条件や地質的な問題点の解決方法を提案しています。
〇ダム、山岳部道路、トンネル、橋梁構造物等の地質調査・解析、地すべり・斜面災害などの調査・解析・対策工検討

【土質を対象に地質調査】
　軟弱地盤、特に泥炭性軟弱地盤では、盛土や掘削により、すべり破壊、沈下および周辺地盤の変位等が発生し、構造物に影響を与える場合があります。
　各種原位置試験や土質試験により、設計及び解析に必要な地盤データを的確に把握し、軟弱地盤解析結果に基づいて環境等に配慮した対策工法を立案します。
〇河川、道路、各種構造物、上下水道に関する地質調査・解析・対策工検討

【環境地質調査】
　河川改修・トンネル掘削・切土などの建設工事を行う時に周辺の地下水環境に影響を与え、湿原植生や樹木へ悪影響を及ぼす、井戸や湧水が涸れる、水質が悪化するといった問題が生じる場合があります。地下水調査・解析分野と理化学分析分野の技術者、設計部門技術者との連携により、建設工事による環境問題を総合的に解決する体制を整えて、土壌・地下水汚染問題に対して、調査・解析から対策に至るまでの方策を提案しています。
〇水文・地下水調査解析、土壌・地下水汚染調査解析

（冬期における山岳地でのボーリング調査）

防災保全部

　道路施設等の防災・減災に関わる測量・調査・計画・設計・維持管理の業務を主に担当しています。

【斜面防災】
　防災地質調査：災害の未然防止にむけて、斜面の地質・地形調査を行い安定度の評価・検討を行い、適切な対策工を提案します。
　対策工設計：地形地質条件・道路条件等を勘案し、安全を確保しつつ、コスト縮減と景観に配慮した各種対策工の提案・設計を行います。
　点検・維持管理：経年的な劣化による変状の進行を把握し、健全度・安全度の高い評価を行い、維持管理に役立てます。

【災害発生時緊急対応】
　災害発生時には、迅速に現場に駆けつけ、安全性の確認、発生原因の検討、応急対策工の提案など災害初動対応の支援を行います。

【測量調査】
　最新技術を用いて、地形調査・測量を行います。災害発生時には災害規模の把握や災害申請に向けて迅速に調査を行います。

（平成30年9月 北海道胆振東部地震 災害現地調査）

◆お問合せ◆
株式会社ドーコン
採用担当
Tel:011－801-1501
Mail:docon-saiyo@docon.jp

ドーコンリクルートサイトはこちら→

飛島建設

会社概要

創業：明治16年（1883年）
設立：昭和22年（1947年）
資本金：55億1,994万円（2020年4月）
売上高：1,234億円（2019年度）
土木746億円、建築478億円、その他10億円
社員数：1,200人（2020年9月1日現在）
技術系993名（土木系543名、建築系450名）、事務系207名

飛島建設は創業137年の老舗ゼネコンです。
これまで数々の建設事業で培った防災・減災技術のさらなる進化を通じて、安全で安心な社会づくりに貢献していきます。また「未来の産業振興・発展を支える企業」として『顧客に新たなサービスを提供していく』という能動的なスタンスでの企業経営を目指します。

トビシマの技術者

飛島建設では地球科学系学科を卒業して入社した数々の社員が活躍しています。
今回はその内の一人である、兼松亮さんが感じる**仕事の魅力、やりがい**を紹介します。

現在、道路トンネルの建設現場で工事の計画、設計、施工管理の業務に携わっています。建設現場では、目的の構造物を作り上げていく作業に直接関わり、自分が計画・段取り・指示したことの成果をその場で見て、感じることが出来ます。構造物が出来上がる様子を見て、自分の仕事を日々実感できることは、この仕事の魅力の一つです。

また、土木の工事では、地盤性状によって構造物の設計や工事の進め方が大きく変わってきます。建設現場では地盤性状を確認することも現場エンジニアとしての大切な仕事なのですが、まさにこの業務は地質の知識を必要とします。土木の現場エンジニアの多くは土木系出身者ですが、工事の要所では私のような地質系出身者に重要な判断を求められることがあります。特に、岩盤を掘り進めていくトンネル工事ではその機会が多く、地質の知識をフル活用させながら業務を進めることは仕事のやりがいになっています。

■キャリア紹介
兼松 亮
2000年　地球科学系学科卒業
2000年　飛島建設入社
2000～2006年
　現場に配属、3つのトンネル現場で施工管理
2007～2019年
　本社の技術部に配属、計画、設計、現場支援、技術営業の業務
2020年～
　沖縄のトンネル現場に配属

飛島建設は学んだ知識を最大限に活かし、力を発揮できる会社です

飛島建設についてもっと知りたい！話を聞きたい！という方は飛島建設人事部までお問い合わせください。
メールアドレス：saiyo@tobishima.co.jp　電話：03-6455-8307　採用担当：浅野

少数精鋭の会社で オンリーワンの技術者を目指す

令和２年７月７～８日大雨による西予市の土砂崩れ現場調査（弊社所有ドローンにより撮影）

信じられるのは自分の目

現場第一の会社です。それぞれの社員が、実際の現場で得た知見に基づいて、自分自身で自然現象などを考えます。そうした一人一人の意見を大切にしながら、社員で協力して仕事を行います。ナイバでは自分で考えられる力を持った技術者を育成します。

小さな会社で大きな仕事

業務内容は地元に貢献する小さな仕事から、地域全体を支える大きな仕事まで多岐にわたります。地方の中小企業でありながら、ダム・トンネルといった大型公共工事、火山や断層研究などの専門性の高い学術的分野にも関わることができるのがナイバの面白いところです。

新たなチャレンジを歓迎

大学で学んだこと以外でも、興味のある仕事があれば積極的にチャレンジすることができる自由な社風がナイバにはあります。

得意分野を活かす

地質、地盤、地下水など、大学で学んだ知識を活かせる仕事内容がきっと見つかります。自分の得意分野で社内No.1そしてオンリーワンの技術者を目指しましょう。

■ 地質調査に関する主な仕事内容

【地盤調査】

ダムから一般家屋まで、建物や構造物が安全に建設・維持されるための地盤調査を行います。

【災害調査】

斜面災害が発生した現場にいち早く駆けつけ、現地踏査と災害復旧に必要な調査計画を立案します。その後、ボーリング調査や各種試験を実施し、復旧対策工について検討を行います。

【地すべり調査】

地すべり地域でのボーリング調査や地すべり観測を行い、地すべりの特性を把握して適切な対策工の立案や検討・設計を行います。

【地下水調査】

河川や井戸の水量観測や水質試験を行い、建設中の道路やダム、トンネルなどの公共事業による周辺環境への影響評価を行います。

■ 技術者としての研鑽

【各種学会活動等への積極的な参加】

地質学会、地盤工学会や地質調査関連の業界団体等の研究発表会への参加を支援しており、発表事例が多数あります。

【地元大学との連携】

最先端の知識を持つ中国・四国地方の大学と連携を図っています。

【各種資格取得への支援】

技術士など業務上必要な資格取得の支援を会社が積極的に行っています。

【災害調査団への参加】

最近は大規模災害が頻発しています。防災への取り組みはこれからの重要なミッションです。

株式会社 ナイバ
四国を拠点とする地質調査・建設コンサルタント

インターンシップ随時募集中
期間などは相談に応じます。お気軽にご連絡ください。
本社：香川県高松市　支店：愛媛県松山市

GEO TECHNICAL SERVICE
NAIBA
https://www.naiba.co.jp/

西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社

【会社の概要】

当社では、設立から一貫して、中国地方の高速道路網において、西日本高速道路(株)の良きパートナーとしてお客様に 100%の安全・安心な道路空間の確保と迅速で確実な質の高いサービスの提供に努めており、未来へ繋がる道路作り，道路空間の確保を目指しています。

約 37 年間にわたり、重要な社会資本である高速道路の計画，調査，設計から点検，補修，改良までのコンサルタント業務を主に行っております。今回は、このうち、地質や土質を主体とした「道路斜面防災に関する業務内容の一部」を次のとおりご紹介致します。

【道路斜面防災に関する業務紹介】

我が国は、急峻な地形と複雑かつ脆弱な地質が広く分布しているという地形的･地質的な素因を有しており、降雨等による斜面災害が毎年のように発生しています。道路斜面災害は、直接的な人的被害や道路空間及び生活空間の破壊のみならず交通機関の遮断，社会経済活動の停滞等各方面にわたって多大な被害をもたらす結果となっています。特に、高速道路は物流の大動脈であり、緊急路の確保と共に絶対的な予防的維持管理を目指す必要があります。

しかしながら、地質や土質に支配される「道路斜面」は、橋梁やトンネル，舗装等他の構造物と違い、材料の不均一性や地域的な地質特性等の素因及び風化･劣化の進行具合の違いが顕著であり、画一的な管理が難しいという特徴を有しています。私たちは、この難しさに立ち向かい、地質，土質，地盤や地下水等に係るあらゆる技術を対象とした、問題解決技術者集団として安心できる社会基盤づくりに貢献しています。

道路をはじめとする社会資本は、全て大地の地盤上に建設されています。「道路斜面」は勿論、橋梁やトンネル等も地質や土質に大きく関わっていることになり、「地質･土質」は切り離せない分野です。

私たちが実際に行う業務の一部を表-1 及び写真-1～-4 に示します。皆さんが，学んだこと，研究してきたことの一部がこの中に含まれていると思います。学んだ知識と技術に加え、現場の経験を活かせるようになればなぜこのような状況が発生したかを正しく解析することができるようになります。また、国内で培った知見を海外に展開し評価される事業にも参画しています。

仕事で学んだ知識や知見を活かし、技術士等の最高資格を得た後は、より専門的なキャリア形成を目指すために学位(博士)にチャレンジすることも可能です。

表-1.道路斜面防災事業の業務内容(抜粋)

種別	概　要
調査	･机上調査(文献調査，地質概要把握，地形判読等) ･現地調査･踏査(地表調査，変状調査，植生調査等) ･調査ボーリング(サウンディング，サンプリング等)
計測	･地表面観測(伸縮計，傾斜計，GNSS 計測等) ･地盤内観測(ひずみ計，孔内傾斜計，水位計等)
試験	･原位置試験(SPT，透水･揚水試験，載荷試験等) ･室内試験(物理試験，力学試験，水質試験等)
分析	･化学分析試験(成分試験，土壌試験等) ･理学分析試験(X 線試験，CEC 試験，色彩測定等)
解析	･断面解析(静的すべり，動的すべり，浸透流解析等) ･構造解析(安定解析，変形解析，構造照査等)
点検	･目視主体(初期点検，定期点検，緊急点検等)
設計検討	･対策工検討(工種選定，概略構造計算等) ･対策工設計(詳細設計，施工計画検討等)

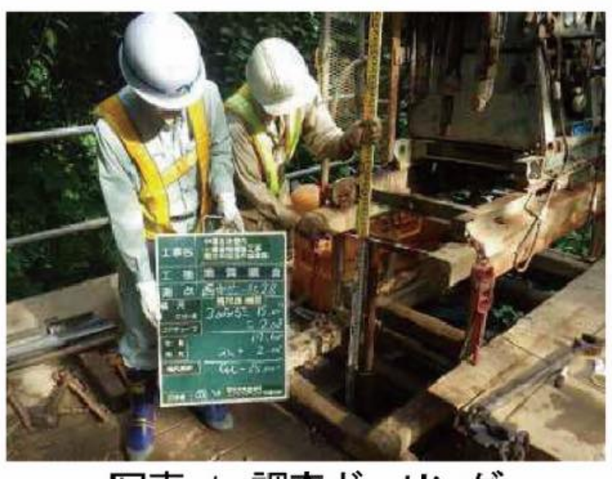


写真-1. 調査ボーリング

写真-2. 揚水試験

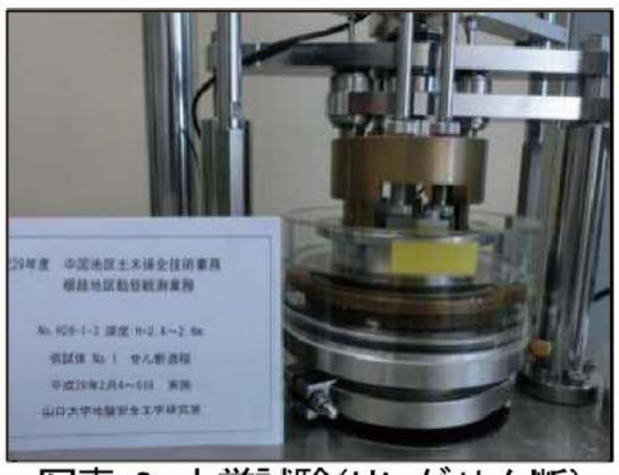


写真-3. 力学試験(リングせん断)

写真-4. ブータン国道路防災事業

研究や建設事業，公務に没頭していく人生も素晴らしいですが、道路という社会資本の整備･維持の根本に関わるコンサルタント技術者として社会に貢献していく未来も素敵だと考えます。

【今後の取り組み】

今後も当社は、技術力の向上に努め、お客様から信頼される迅速で確実なサービスを提供し、付加価値の高い業務を行っていきます。道路という貴重な社会資本の構築と維持管理という仕事を通じて、豊かな社会生活を次世代に届けることが私たちの最大の目的であると考えています。皆様方から技術者集団として信頼いただけるよう、誠実に業務へ取組むとともに、技術力･サービス力をさらに磨いてまいります。

二刀流から三刀流へ

横山一輝（よこやまかずき）
日特建設㈱技術開発本部

ものづくりと恐竜好きの幼少期

北海道の酪農の町で生まれた私は、絵を描くこと、ものをつくることが大好きな美術少年でした。家じゅうの壁に落書きするのは当たり前。その落書きを消す・消さないで、親がケンカするぐらいでした。また基本的に、テレビで見て欲しいと思ったおもちゃは、大概自分で作っていました。

一方で私が幼少期に興味を持っていたのは、親が買ってくれた恐竜図鑑に出てくる大昔の生物でした。毎日図鑑を見ながら恐竜の絵を飽きもせず、何百枚と描いていました。親から貰ったこの一冊の本が私を地質学の道へと誘ってくれました。大学は新潟大学理学部地質科学科に入学し、修士まで地質学を学びました。

土木の世界へ

大学卒業後の進路を考えるようになった就職活動で、私が心に決めていたのは地質学の基礎は学んだから、社会では土木を学び、自分の武器を２つ持つことでした。そんな折に今の会社のホームページを覗いた時に私の目に飛び込んできたのは「地質と土木の二刀流」という謳い文句でした。これだ！と思い、発作的に今の会社に入社を決めました。

施工管理業務を主体とする今の会社に入ると、現場監督として業務に従事する毎日が続きました。土木工事は自然地盤を相手に仕事をする訳ですから、その地盤の地質についての知識も当然役立ちました。しかし、元々土木の知識がなかった私の毎日は、常に「これは何ですか？何故こうするのですか？」とその場で先輩や作業員に聞いたり、帰ってから自分でも調べたりする日々でした。土木工事を学ぶ日々が 12 年ほど続き、この経験が着実に今の自分の手足になっていると感じています。

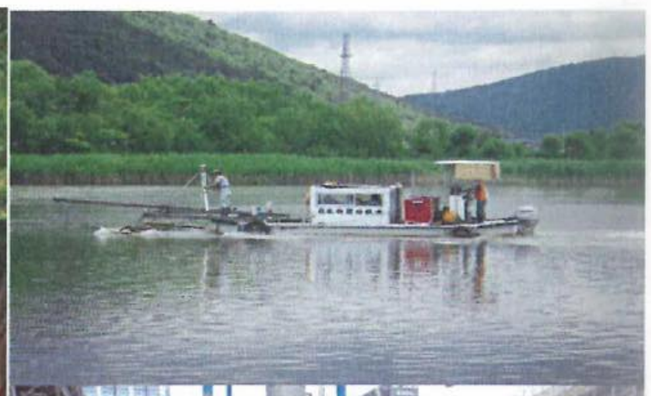
新たな技術の開発

そして現在、私は本社の研究開発の部署に着任し、新しい技術や機械の開発実験に明け暮れています。「地質学」と「土木工事経験」の二刀流に加え、開発という私の幼少期からの武器である「ものづくり」も活かせるフィールドに立っています。つまり三刀流！！そしてこれからもさらに武器を増やしたいと考えています。

地質を学ぶ皆さん、自分の武器を増やすことは、決して楽ではありません。しかしきっと皆さんの視野を大きくし、活躍の場を広げてくれます。チャレンジしてみてはいかがでしょうか。

幼少期の筆者が作った陶芸作品

削孔機を使った開発実験状況



ニ ホ ン フ ツ リ タ ン コ ウ

日本物理探鑛株式会社

〇設立年：1942年
〇資本金：5,000万円
〇代表取締役社長：石田　定
〇従業員数：127名（2020年3月31日時点）
〇本社：〒143-0027　東京都大田区中馬込2-2-12
〇TEL：03-3774-3211

物理探査のパイオニアとして、鉄道やダム、橋脚などのインフラ整備に尽力してきました。
さまざまな技術・手法を駆使し、お客様の多種多様なニーズにお応えすることで、社会の安全を担う企業としてゆるぎない地位を築いております。

当社の業務内容について

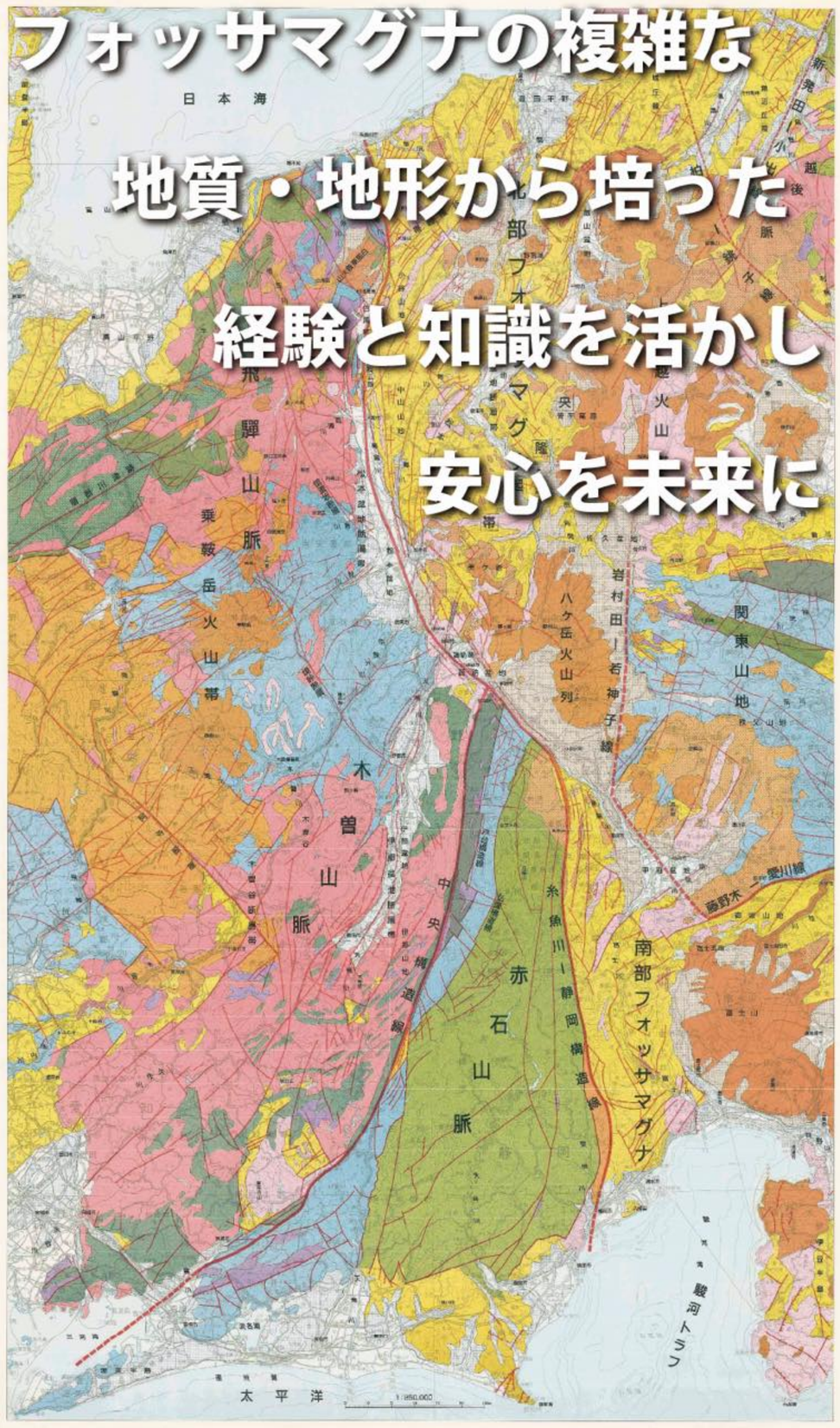
当社は、弾性波を用いた地盤調査、磁気や電磁波を用いた不発弾探査や埋設物探査などを行っている会社です。
調査の目的は様々ですが、建物やトンネル、道路、橋脚等の建造に伴う調査が大部分を占めます。
当社の調査結果を基にその後の工程が進められていきますので、各種工事の基盤といえる業務であり、安全なまちづくりのために不可欠な仕事です。

当社の特徴

当社の部署は、大きく分けて「地質分野」と「磁気分野」の２つに分かれておりますが、配属された分野のみではなく、他の分野の業務に携わる機会も多くあります。
地質と磁気では、手法はもちろん探査目的も異なりますが、「地下を調査すること」は共通していますので、片方の知識が他に応用できることも多くあります。
様々な業務を経験することによって、１つの調査を多角的な視点でとらえることができる技術者として成長できる環境が整っています。

当社は安心・安全なまちづくりのために共に働いてくれる方を募集しております。少しでも興味があれば、お気軽にご連絡ください。資料のご送付やご説明の機会を設けさせていただきます。

TEL：03-3774-3211　Email：somu@n-buturi.co.jp　　総務人事部　採用担当



自然環境を守り、安心して暮らせる社会を創る

北陽建設株式会社

Hokuyo construction Co., Ltd.

本社　：〒398-0003 長野県大町市社 5377
Tel：0261-22-1155　Fax：0261-22-9562
mail：info@hokuyo-net.co.jp
営業所：長野、飯田、松本、木曽、伊那、
岐阜、浜松、静岡、機材センター（大町、飯田）
http://www.hokuyo-net.co.jp

ISO 9001 MSA-QS-1014　JAB　エコアクション21 認証・登録番号 0007075

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

YACHIYO
Engineering

Future × 地質

世のため 人のための“エンジニヤ”

この世界に、新しい解を。

Innovative solutions for the society

未来を想うすべての人に、誠実に向き合い続けていく。

この姿勢こそが、社会課題を解決する新しい解を生み出していくと信じています。

私たちは、八千代エンジニヤリング。

千年先に続く未来を、挑戦の文化で実現する会社です。

www.yachiyo-eng.co.jp

yec 八千代エンジニヤリング株式会社

YON-C
株式会社 四電技術コンサルタント

四国電力グループの総合建設コンサルタント

四国の大地が残した歴史を読み解く

当社は、四国電力グループの一員として昭和57年に発足し、河川・道路・ダム・発電所などの調査・設計や、地震・津波解析等の防災対策、環境調査などを手掛けるとともに、一級建築士事務所、測量業、地質調査業、土壌汚染調査業、環境計量証明事業など相互に補完しあう幅広い事業を展開している四国・高松に本社を持つ総合建設コンサルタントです。地質部門は、応用地質分野と土質分野に係わる業務を遂行し、地域の地形、地質、文化の特性を熟知し、地域に根ざした総合コンサルタントとして業務を行っています。

01. 地すべりの調査・解析・対策工の検討

四国は急峻な山岳地が多く、豪雨や地震により地すべりが多く発生しています。地すべり調査はその兆候（地形）の調査にはじまり、ボーリング調査や変位計測の提案を行い、調査結果をもとに地すべりの安定解析、対策工法の検討、対策の費用などを検討します。

地すべり調査斜面

02. 地下水の濁水・枯渇など、工事に伴う地下水全般の調査・解析

杭工事や砂防ダムの掘削工事を行うと、下流に地下水の濁りが流下することが懸念されます。その影響度合いの予測調査や工事中のモニタリング調査を行います。また、工事の影響評価や軽減対策も提案します。

地下水の流向の評価事例

03. 構造物・建物の基礎地盤の調査と評価

道路・ダム・発電所施設などの設計にあたっては、設計上に必要な地盤の状況や詳細な地質リスクを確認するためのボーリング調査等を実施します。適切な詳細調査を行うために、既往資料や空中写真判読による地形調査も行います。

斜面でのボーリング調査

04. 新技術の取り組み

河川堤防などの表層地盤の透水性を調査する方法として、「締め固めた地盤の透水試験方法(地盤工学会基準、JGS1316)」などが示されていますが、当社では、取り扱いが簡便で広範囲の透水性地盤に適用が可能な原位置透水試験装置「水華」を開発しました。本機器は特許を取得し、また、地盤工学会基準の中でも紹介されています。

原位置透水試験装置 水華

■ 問い合わせ先
株式会社 四電技術コンサルタント
本社所在地：〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼1007-3
担 当 部 署：土木事業部 地質技術グループ（担当：田村）
TEL：087-887-2290

当社の魅力や先輩社員の紹介など、
以下のホームページをご覧ください。

ホームページ https://www.yon-c.co.jp/employ/

2020

一般社団法人 日本地質学会